



R03 理数第 208-2 号
令和 3 年 1 0 月 2 6 日

各都道府県教育委員会
中学校教育事務主管課長 様

国立研究開発法人科学技術振興機構
理数学習推進部長 大槻 肇
(公 印 省 略)

第 9 回科学の甲子園ジュニア全国大会の分散開催での実施及び
実施要項の送付について

平素より当機構の事業にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、第 9 回科学の甲子園ジュニア全国大会は、下記の通り、新型コロナウイルス感染防止等の観点から、分散開催で実施することといたしました。

各都道府県教育委員会の皆様におかれましては、会場確保及び競技監督（競技支援員）でご協力頂くとともに、代表チームへの分散開催での実施についてのご周知よろしくお願い申し上げます。

なお、分散開催の内容については、別紙の実施要項をご参照ください。

記

1. 分散開催で実施する理由

新型コロナウイルス感染症は、デルタ株のまん延により若年層にも感染リスクが高くなっている。10月下旬現在、感染者数は第5波と比べ大幅に減少したが、若年層のワクチン接種率は他の年代よりも低いことや、全国大会開催期間に実際に新型コロナウイルス陽性者が出た場合、公共交通機関が使用できず帰宅困難となり、中学生が遠方での滞在を強いられることなどを総合的に勘案し、分散開催が適切と判断した。

2. 分散開催の内容

別紙の実施要項を参照。

以上

本件についてのお問い合わせ先

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）理数学習推進部
科学の甲子園ジュニア事務局 西村、芝野、村田、野崎
〒332-0012 埼玉県川口市本町4-1-8 川口センタービル14階
電話：048-226-5665
E-mail：koushien-jr@jst.go.jp

第9回科学の甲子園ジュニア全国大会 実施要項

1. 目的

第9回科学の甲子園ジュニア全国大会(以下、「全国大会」という。)は、理科、数学等における複数分野の競技に協働して取り組むことを通じて、全国の中学生が科学の楽しさ、面白さを知り、科学と実生活・実社会との関連に気付き、科学を学ぶことの意義を実感できる場を提供することによって、科学好きの裾野を広げるとともに、未知の分野に挑戦する探究心や創造性に優れた人材を育成することを目的とする。

2. 全国大会の実施・協力体制

- ① 主催： 国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)
- ② 共催： 兵庫県、兵庫県教育委員会、姫路市
- ③ 後援： 文部科学省、全日本中学校長会、全国中学校理科教育研究会、
公益社団法人日本理科教育振興協会
- ④ 都道府県教育委員会、その他の関係機関の協力を得て開催する。

3. 実施方法

新型コロナウイルス感染防止等の観点から、当初予定していた兵庫県姫路市での集合開催ではなく、各都道府県代表チームが各都道府県の会場に集合して実施する「分散開催」とする。

なお、感染状況悪化により休校となるなど、各都道府県会場にも集合できない都道府県代表チームは、在宅での筆記競技の体験参加とする。

4. 開催日程

- 令和3年12月3日(金)： 開会式(オンライン視聴)、筆記競技
令和4年1月17日(月)： 表彰式(オンライン視聴)
(令和3年11月下旬～1月上旬： 体験実技)
(令和4年1月17日(月)～1月21日(金)： オンラインツールを用いた交流期間)

5. 開催場所

各都道府県教育委員会が確保した会場

6. 出場チーム

- ① 都道府県で選出された47チームを全国大会の出場チームとする。
- ② 全国大会出場チームは、1都道府県1チームとする。
- ③ 出場チームは中学1、2学年の生徒(中等教育学校前期課程にあっては同年次の生徒)で構成する。
- ④ 出場チームの人数は6人とする。
- ⑤ 各学校引率教員1名が同行する。

7. 競技について

大会競技は筆記競技のみとする。分散会場での実技競技の公平な環境の提供が難しいため、実技競技は実施しない。

筆記競技は理科・数学等の複数分野において、実生活・実社会との関連、融合領域に配慮した出題とし、生徒の修得済みの知識に加えて、競技に必要な新たに示された情報を統合することで課題を解決する内容とする。

種目	出題分野	競技者数	配点	競技時間
筆記競技	物理、化学、生物、地学、 数学、情報分野から出題	6名	300点 (50点×6題)	70分

8. 体験実技

前項の通り、実技競技は実施しないが、実技競技の体験を目的とした、「体験実技」の課題を提供する。体験実技は、ものづくりの能力、コミュニケーション能力等を用いて課題を解決する体験が出来る内容とする。

12月3日(金)の一斉実施ではなく、体験期間(11月下旬～1月上旬を想定)内に、代表チームそれぞれで任意で体験及びレポート作成・提出する形式とする。

提出されたレポートの優劣は付けず、代表チーム間で共有し、他チームの工夫を見ることで気づきを得る設計とする。

なお、体験やレポート提出の有無は、総合成績には影響しない(あくまで任意での実施)。

種目	出題分野	体験者数	実施方法
体験実技	ものづくりの能力、コミュニケーション能力等を用いて課題を解決する体験が出来る内容	6名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 12/3一斉実施ではなく、体験期間(11月下旬～1月上旬を想定)内に代表チームそれぞれで実施。 ・ 体験・レポート提出ともに任意。 ・ 提出レポートの優劣は付けず、代表チーム間で共有。

9. 表彰等

- ① 主催者が定めた審査委員会が、筆記競技の成績点数の合計によって優勝チームを決定する。
- ② 優勝チームに、文部科学大臣賞を授与する。
- ③ 主催者は協賛企業等を広く募り、その他の表彰を授与する。
- ④ 大会成績上位の出場チーム名を公表する。出場チームの成績は当該教育委員会に提供する。

10. 費用負担

- ① 出場チームの選手及び引率教員の各都道府県会場までの旅費については、原則として主催者が負担する。
- ② 競技運営を支援する都道府県教育委員会指導主事等の各都道府県会場までの旅費は原則として主催者が負担する。
- ③ 会場設営にかかる費用(会議室の借料等)は主催者が負担する。なお、会場に設置する衛生備品(消毒液等)は主催者から都道府県教育委員会へ送付する。

11. 運営

全国大会の運営のため、JST 理事を委員長とする「科学の甲子園ジュニア全国大会実行委員会」を設置する。

12. その他

- ① 主催者から別途送付する健康管理表に基づき、参加者は開催2週間前から体温、自覚症状をチェックする。参加不可項目に該当した場合は、参加できない。
- ② 感染状況悪化により休校となるなど、各都道府県会場に集合できない代表チームは、在宅での筆記競技の体験参加とする。この場合、あくまで体験参加であり、チームの記録は参考記録となり、表彰対象外とする。
- ③ 全国大会における個人情報及び肖像権の取り扱いについては別途通知する。

以上

「第9回科学の甲子園ジュニア全国大会」スケジュール

令和3年12月3日(金)

時間	プログラム
14:45	代表チーム集合
14:45～15:00	競技監督に健康管理表を提出。
15:00～15:30	開会式(オンライン視聴。アーカイブ配信もあり。)
15:40	着席(筆記競技開始20分前に着席。選手による教具動作確認、諸注意連絡を実施。)
16:00～17:10	筆記競技(70分)
17:10～17:30	答案回収等
17:30	代表チーム解散

※ 上記が標準的なスケジュールですが、各都道府県の状況により、時間が変更になる場合があります。集合場所、集合時間については各代表チームの窓口の先生に別途ご連絡いたします。

令和4年1月17日(月)

時間	プログラム
16:30～17:00	表彰式(オンライン視聴。アーカイブ配信もあり。) ※ チームメンバーが一カ所に集まる必要はない。 ※ 表彰式終了後、優勝チームのキャプテンには電話でインタビュー予定(代表チームの引率の先生にお電話する予定)。

【体験実技】

令和3年11月下旬

体験実技課題の送付(各都道府県教育委員会経由で代表チームへ送付)

令和3年11月下旬～1月上旬

各代表チームで体験及びレポート作成(任意)

令和4年1月上旬

レポート提出期限(任意)。未提出チームも含め、代表チーム間で提出レポートを共有。

【オンライン交流】

令和4年1月17日(月)～1月21日(金)

オンラインツールを用いた交流期間

※ 上記スケジュールは予定であり、変更となる可能性がある。

取扱注意

提出(メール)締切

令和3年11月9日(火)

第9回科学の甲子園ジュニア全国大会

出場チーム登録書

(1)提出日

記入日	令和3年	11	月	9	日	記入者名	中島 和也
-----	------	----	---	---	---	------	-------

(2)都道府県名

都道府県名	鳥取県
-------	-----

(3)出場チーム学校名 (正式名称で記入してください。すべての資料においてこの順番で表記されます)

学校名1	湯梨浜学園中学校	出場人数	3人
学校名2	鳥取大学附属中学校	出場人数	3人
学校名3		出場人数	
学校名4		出場人数	

(4)備考

【連絡事項・ご不明点などがあればご記入ください】

・この度の送付では、チーム写真は、2校それぞれのものをお送りしておりますが、全員揃った方がよろしいならば、差し替えいたします。その場合、最短で11/15(月)にお送りすることになりますが、よろしいでしょうか。

(5)出場チーム連絡窓口

学校名または所属	湯梨浜学園中学校		
フリガナ	ナカシマ カズヤ		
担当者氏名	中島 和也		
郵便番号 および住所	〒689-0727	鳥取県東伯郡湯梨浜町田畑32-1	
電話番号	0858-48-6810	FAX番号	0858-48-6813
緊急連絡先 (担当教員携帯番号等)	090-7590-6822	メールアドレス(手続き用)	k.nakashima@yurihamagakuen.ac.jp

(6)キャプテン登録(1名)

氏名	松尾 一樹	学校名	湯梨浜学園中学校	学年	2年
----	-------	-----	----------	----	----

(7)ブルゾン色の希望

第1希望	ロイヤルブルー	第2希望	ターコイズ
------	---------	------	-------

(8)出場チーム紹介

出場チーム紹介 コメント	■チーム紹介および今大会出場に向けた抱負(※70字以内でご記入下さい。名称等必要に応じてフリガナを併記ください。)サイエンスが大好きな6人が集まったチームです。全国のライバルと競えるこの機会を存分に楽しみたいと思います。優勝目指して頑張ります。
出場チーム紹介 写真	※旅行・運営事務局 koushien-jr2021@jtb.com にファイル名を「都道府県名.jpg」としてお送り下さい。

ご提出・お問い合わせは下記宛にお願い致します。

「第9回科学の甲子園ジュニア全国大会」旅行・運営事務局

株式会社JTB 新宿第三事業部 営業三課内 担当:加藤・中村

〒163-0426 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル26階

TEL: 03-5539-2934 FAX: 03-5909-8070 (平日10:00~17:00)

e-mail: koushien-jr2021@jtb.com

※問合せが集中する場合もございますので、メールまたはFAXでの問合せをご推奨します。

[個人情報の取扱いに関して]

ご記入頂きました個人情報は、本全国大会でのご連絡及び各種手続きに利用し、それ以外の目的に利用することはありません。

事務局記入欄

--	--	--	--